

## 2022年度 講義要綱

科 目	子ども家庭支援論	必修 2単位 講義	講 師	井上 恵理
授業概要	<p>保育者は、子どもだけでなく、その子どもの家庭(保護者)を支援する役割も担っている。この科目は、子ども個人を理解する視点にとどまらず、家庭状況、家族の関係性に応じて、適切に介入をする為の理論や支援内容について学習する。近年特に問題となっている発達障害や虐待事例への対応方法についても理解を深める。</p>			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。</li> <li>2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。</li> <li>3. 子育て家庭に対する支援の体制について理解する。</li> <li>4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。</li> </ol>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が行う子ども家庭支援の意義・目的を説明できる。</li> <li>・子育て家庭に対する一般的な支援制度・内容および、要保護児童や障害のある子どもとともにある家庭に対する支援制度・内容について説明できる。</li> </ul>			
授業方法	<p>講義と並行して、演習的要素を適宜取り入れる。事例検討、グループワーク、視覚教材の視聴などを通して学生自身が家庭支援のあり方を主体的に考える。</p>			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子ども家庭支援の意義と必要性</li> <li>2 子ども家庭支援の目的と機能</li> <li>3 子ども家庭支援を行う保育者の心構え</li> <li>4 子ども家庭支援を行う保育者の心構え</li> <li>5 社会的養護が必要な子どもと家庭支援</li> <li>6 社会的養護が必要な子どもと家庭支援</li> <li>7 社会的養護が必要な子どもと家庭支援</li> <li>8 社会的養護が必要な子どもと家庭支援</li> <li>9 まとめ</li> <li>10 障害のある子どもと家庭支援</li> <li>11 障害のある子どもと家庭支援</li> <li>12 障害のある子どもと家庭支援</li> <li>13 障害のある子どもと家庭支援</li> <li>14 まとめ</li> <li>15 試験</li> </ol>			
必須テキスト	『ひと目でわかる 保育者のための児童家庭福祉データブック2021』西郷泰之・宮島清編著、中央法規			
参考文献	授業中に適宜紹介する。			
成績評価の方法と基準	出席状況(25%) + 提出物・授業態度(25%) + 試験(50%) = 合計(100%) 授業に出席し、授業中に伝える大事なポイントを記録し、提出物の期限を守りましょう。			
担当教員の専門分野等	臨床心理学が専門。数年間、教育相談室で子どもと保護者の発達相談等に応じてきた。現在も臨床心理士、公認心理師として活動中。			

## 2022年度 講義要綱

科目	コミュニケーションⅡ	必修 2単位 講義	講師	鈴木 八重子
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスを一つの集団とみなし、集団として成長していく過程を体験学習する。</li> <li>・保育者に必要とされるコミュニケーション力を養う。</li> <li>・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本への理解を深める。(該当科目3コマ)</li> </ul>			
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己洞察力を養い、安定した人間関係を養えるようになる。コミュニケーション能力を身に付ける。</li> <li>・絵本のもつ可能性及び相反する力について理解する。絵本が子ども達に与える影響について多角的な視野から見つめることにより、批評力を体得する。(認定:「絵本のもつ力」なかむらしんいちろう)</li> <li>・心の働きがめぐるれている場面や場所における絵本活用の可能性について理解する(認定:「心に寄り添う絵本」細江幸世)</li> </ul>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己洞察力を養い、安定した人間関係を養いコミュニケーション能力を身に付けることができる。</li> <li>・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本に関する総合的なプロデュース力を身につけることができる。</li> </ul>			
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション力を高めるために、レクリエーションゲーム、課題解決学習、ロールプレイ、行事企画等、様々な形の学習を体験する。</li> </ul>			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 コミュニケーションワーク(1)・短大科目取り組み</li> <li>3 コミュニケーションワーク(2)・短大科目取り組み</li> <li>4 就職とコミュニケーション(1)</li> <li>5 学校行事の準備(1)</li> <li>6 【認定絵本士養成講座科目】「心に寄り添う絵本」担当:細江幸世</li> <li>7 コミュニケーションワーク(3)・短大科目取り組み</li> <li>8 コミュニケーションワーク(4)・短大科目取り組み</li> <li>9 【認定絵本士養成講座科目】「絵本のもつ力」担当:なかむらしんいちろう</li> <li>10 コミュニケーションワーク(5)・短大科目取り組み</li> <li>11 学校行事への準備(2)</li> <li>12 就職とコミュニケーションワーク(2)</li> <li>13 コミュニケーションワーク(6)・短大科目取り組み</li> <li>14 コミュニケーションワーク(7)・短大科目取り組み</li> <li>15 振り返り・夏季休暇・後期の学校生活に向けて</li> <li>16 オリエンテーション</li> <li>17 コミュニケーションワーク(8)・短大科目取り組み</li> <li>18 コミュニケーションワーク(9)・短大科目取り組み</li> <li>19 就職とコミュニケーション(3)</li> <li>20 コミュニケーションワーク(10)・短大科目取り組み</li> <li>21 【認定絵本士養成講座科目】「ホスピタリティに学ぶ」近藤学</li> <li>22 コミュニケーションワーク(11)・短大科目取り組み</li> <li>23 コミュニケーションワーク(12)・短大科目取り組み</li> <li>24 コミュニケーションワーク(13)・短大科目取り組み</li> <li>25 コミュニケーションワーク(14)・短大科目取り組み</li> <li>26 コミュニケーションワーク(15)・短大科目取り組み</li> <li>27 就職とコミュニケーション(4)</li> <li>28 コミュニケーションワーク(16)・短大科目取り組み</li> <li>29 コミュニケーションワーク(17)・短大科目取り組み</li> <li>30 振り返り・進級に向けて</li> </ol>			
必須テキスト	【認定絵本士科目】認定絵本士養成講座テキスト			
参考文献				
成績評価の方法と基準	出席状況(30%) 授業態度(30%) 提出物(20%) 発表(20%)			
担当教員の専門分野等	鈴木八重子:実務経験のある教員 【認定絵本士養成講座担当講師】 ○なかむらしんいちろう:絵本作家、絵本の研究者、絵本をめぐる活動全般に精通した者 ○細江幸世:絵本作家、絵本の研究者、相談機関等において絵本の読み聞かせの実践経験をもち、○近藤学:子ども達を対象とした商業施設の従事者な			

## 2022年度 講義要綱

科目	保育者論	必修 2単位 講義	講師	平澤 順子
授業概要	幼稚園教諭、保育士、保育教諭などに関わる関係法令、その制度的位置づけ及び意義について、基本的な知識を身に付ける。また、保育者の専門性や資質能力について考えを深める。さらに保育の現場で求められる保育者同士の協働、家庭や地域社会及び専門機関との連携の意義を知り、専門職としてのキャリア形成を図っていくことの大切さを理解する。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者の役割と倫理について理解する。</li> <li>2. 保育士の制度的な位置づけを理解する。</li> <li>3. 保育士の専門性について考察し、理解する。</li> <li>4. 保育者の連携・協働について理解する。</li> <li>5. 保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。</li> </ol>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教諭、保育士、保育教諭の制度的位置づけを知り、その役割と意義について説明できる。</li> <li>・保育者としての学びの継続、資質向上とキャリア形成についての重要性を理解する。</li> </ul>			
授業方法	テキストを通して内容を理解し、レポート作成に向け、要点を整理していく。 適宜授業内でグループディスカッションを行い、理解を深めていく。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ・自己紹介</li> <li>・シラバスを基に、授業の流れについての説明</li> <li>2 ・幼稚園教諭、保育士、保育教諭及び施設などで働く保育者の具体的な仕事内容と保育者の役割について学ぶ</li> <li>3 ・幼稚園教諭、保育士、保育教諭、それぞれの法的根拠を知り、そこに示されている 保育者の役割や職務内容、義務などについて学ぶ</li> <li>4 ・教育を受ける者から実践する者になるために、教育に対する見方や態度を転換する必要性について学ぶ</li> <li>・保育者としての素質を育てる生活体験、直接体験、教養教育を重視することの重要性について学ぶ</li> <li>5 ・保育者その他の仕事との違いについて学ぶ</li> <li>・保育者に期待されていることについて学ぶ</li> <li>6 ・保育者および園長経験者からの経験談・事例を基に、現場で保育者が共に学び合い成長することの意味について考え、理解を深める</li> <li>7 ・地域における教育・保育機関としての役割を認識し、地域や様々な専門機関との連携・協働、保育の質を高めるための意識・態度について理解する</li> <li>8 ・保育者は、倫理観、人間性、職務と責任の理解と自覚、知識及び技術の習得と維持及び向上に務める必要性について学ぶ</li> <li>9 ・「今の子どもの育ち」の課題を整理し、「気がかりな子」への対応や障害児保育の新たな動きも含めて、家庭や地域社会でどのような子育て支援が必要かについて考える</li> <li>10 ・これまで実施されてきた我が国の少子化対策や子育て支援の政策の概要を理解し、社会全体で子育てを支援していく仕組みの重要性について考える</li> <li>11 ・保育者が担うべき仕事(課題)を増やし、その内容を拡大させつつある現代社会の重要な変化について学ぶ</li> <li>12 ・明治期以降の我が国の保育の歴史の変遷をたどり、今ある我が国の保育が形成されてきた経緯を理解し、学生自身の保育者像を明確にする</li> <li>13 ・我が国は戦後復興から高度成長期を経て、男女共同参画社会、グローバル社会へと変化し、その中で、子どもを取り巻く環境の変化、保育者に求められる役割なども変化してきた。そこで、実際に保育者として働いている人</li> <li>14 ・諸外国における子どもを取り巻く環境の変化と保育者に求められること、保育の質の議論、保育制度や保育者の特徴などを概観し、我が国の保育と比較検討する</li> <li>15 ・幼稚園や保育所、認定こども園など、実際の保育の場で働く保育者の声を通して、「人との関わり方」学生生活の意義「自分磨き」など、保育に関する専門的学習の基本を幅広く学ぶ</li> </ol>			
必須テキスト	特に指定なし			
参考文献	『今に生きる 保育者論 第4版』2019、みらい 幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説			
成績評価の方法と基準	出席状況(20%) + 小レポート(20%) + 短大レポート(20%) + 定期試験(40%) = 100%			
担当教員の専門分野等	保育士としての実務経験あり。研究領域は、領域「環境」、幼児期初期の身振り、保育者援助。カリキュラム論、実習指導			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育の計画と評価	必修 2単位 講義	講 師	歌川 光一
授業概要				
授業目標	1. 保育の内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解する。 2. 全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。 3. 子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)について、その全体構造を捉え、理解する。			
到達目標	・保育の「計画」を立て、それを「評価」することの意義を理解し、実践できるようになる。 ・多様な教育・保育方法を理解し、利用できるようになる。			
授業方法	講義、ワーク(レポート作成指導を含む)の組み合わせにて実施します。			
授業計画	1 幼稚園教育要領・保育所保育指針等における保育内容 2 養護と教育の一体性、保育内容の「領域」の変遷 3 発達特性、認知特性と保育内容 4 環境、遊びを中心とした保育 5 教育・保育方法の歴史① 6 教育・保育方法の歴史② 7 遊びと園内環境、保育形態 8 幼児教育(保育)内容と小学校の教育内容 9 全体的な計画の意義 10 指導計画の意義と作成 11 教育・保育の記録と評価 12 カリキュラム・マネジメントの意義 13 「教育方法論」のまとめとレポート作成 14 「保育の計画と評価」のまとめとレポート作成 15 保育の計画と評価をめぐる動向と課題			
必須テキスト	稲田達也ほか編『教育方法論』豊岡短期大学通信教育部、2019年。			
参考文献	授業中に示します。			
成績評価の方法と基準	授業内の提出物(60%)、豊岡短期大学レポート(20%)、授業態度等の平常点(20%)			
担当教員の専門分野等	学部、大学院、現在に至るまで教育学を専門とし、専門学校や大学での教員養成、保育者養成に関わって10年目になります。小学校教員免許、保育士資格等を取得済みです。			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育内容演習・健康	必修 1単位 講義	講 師	菊池 一英
授業概要	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活作り出す力を養う「健康」の指導の基礎となる知識、技能を身に付ける。			
授業目標	1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容につい			
到達目標	1. 子どもの発達を十分に踏まえた保育内容について、具体的に説明できる。 2. 保育場面を想定して、環境構成、保育士の配慮事項を含む、保育過程を組み立てることができる。			
授業方法	短大のレポート・試験課題に関する基礎知識を講義し、レポートを仕上げることを優先し授業を展開します。			
授業計画	1 オリエンテーションと心身の発達の特徴と健康課題について 2 基本的生活習慣について 3 乳幼児期の発育、発達と運動機能の獲得と、反射について 4 現代の子どもの食生活の問題点について 5 乳幼児期の健康安全における事故防止の指導体制について 6 朝食の役割の重要性について 7 筆記試験(※対面) 8 現代社会とストレスについて 9 体力の概念規定について 10 筋力トレーニングについて 11 健康寿命とは何か？ 12 トレーニングの原理・原則とは？ 13 薬物汚染について 14 スキャモンの発育曲線及び「高血圧症」について 15 筆記試験(※対面)			
必須テキスト	豊岡短期大学指定のテキスト			
参考文献	特に指定なし			
成績評価の方法と基準	授業への取り組みへの貢献度(30%)レポート(30%)試験(30%)出席率(10%)			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当。保育所に副園長兼保育士として長年勤務。現在幼児体育講師として保育所にスーパーバイザーとして非常勤勤務。			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育内容演習・人間関係	必修 1単位 講義	講 師	湯浅 阿貴子
授業概要	領域「人間関係」のねらいや内容の理解を深めるとともに、様々なかかわりを通じた人間関係の発達についてエピソードを取り上げ、考察する。また、保育者としてどのように子どもと人との関わりを育てていくのか、保育者としてどのような関係性を築いていくのか、子ども－養育者、子ども－子ども、子ども－保育者、保育者－養育者、さらには保育者－保育者という様々な関係について考察していく。			
授業目標	1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について			
到達目標	1,保育の内容が相互に関連性をもつことを理解した上で、領域「人間関係」のねらいや内容を理解し、説明できる。 2,子どもの人間関係の発達を理解し、保育実践の具体的な場面を想定しながら保育計画を立案することができる。			
授業方法				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 領域「人間関係」・ねらいと内容・視点から領域へ</li> <li>2 領域「人間関係」・領域の相補性(保育活動の総合性)と幼児期の終わりまでに育てたい10の姿</li> <li>3 子どもを取り巻く社会的環境と人間関係の発達</li> <li>4 子どもの人間関係の育ちと保育者の役割①・自己概念の発達・発達の筋道と人とのかかわり</li> <li>5 子どもの人間関係の育ちと保育者の役割②・人間関係の発達と遊び～乳児期～・愛着形成と保育者との信頼関係</li> <li>6 子どもの人間関係の育ちと保育者の役割③・人間関係の発達と遊び～1歳児～・自我の芽生えと探索活動</li> <li>7 子どもの人間関係の育ちと保育者の役割④・人間関係の発達と遊び～2歳児～・自我の形成と周囲とのかかわり・イメージの広がりとおっこ遊び</li> <li>8 子どもの人間関係の育ちと保育者の役割⑤・人間関係の発達と遊び～3歳児～・自立と依存・自己主張と自己抑制</li> <li>9 子どもの人間関係の育ちと保育者の役割⑥・人間関係の発達と遊び～4・5歳児～・協同性の育ち～目標を共有しながら遊ぶ～・ルール共有といざこざ</li> <li>10 園生活の中にみる人とのかかわり・個と集団の育ち～私と私たち～・規範意識と道徳性</li> <li>11 遊びの中にみる人間関係・遊びの発達と保育者のかかわり</li> <li>12 人的環境としての保育者と保護者・共に育てる関係としての保護者と保育者のかかわり・人的環境としての保育者と保育者間の連携</li> <li>13 今日的な人間関係の課題・地域とのかかわりと子どもの発達</li> <li>14 保育実践を考察する①・協同的な遊びからの学びを考える</li> <li>15 保育実践を考察する②・保育計画の立案～協同的な遊びの指導案を作成する～</li> </ol>			
必須テキスト	「人間関係論」(配本テキスト)「幼稚園教育要領解説」(最新版)「保育所保育指針解説」(最新版)「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」(最新版)(フレーベル館)			
参考文献	適宜配布する			
成績評価の方法と基準	スクーリングにおける受講態度、課題への取り組み、単位認定試験結果等を総合的に評価する(評価はルーブリック評価を用いる)			
担当教員の専門分野等	保育内容領域「人間関係」			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育内容演習・環境	必修 1単位 講義	講 師	今泉 良一
授業概要	子どもは、あそびや生活を通して自ら環境に働きかけながら学びを深めていく。それを踏まえ、「環境を通して行う保育」、「あそびを通しての総合的な指導」の在り方について考察し、保育における環境の重要性について学んでいく。			
授業目標	1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「環境」のねらいと内容について理解し、保育者の役割について考察することができる。</li> <li>・環境構成を支える知識や技術を身につけることができる。</li> </ul>			
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>①短大レポート課題に基づいて基礎的知識を講義する。</li> <li>②実践的な内容を演習形式で体験的に学習する。</li> </ul>			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション(講義の概要とねらい)</li> <li>2 領域「環境」の基礎知識</li> <li>3 子どもを取り巻く人的環境</li> <li>4 子どもを取り巻く物的環境</li> <li>5 子どもを取り巻く自然環境</li> <li>6 子どもを取り巻く社会的環境</li> <li>7 保育における環境構成の実際</li> <li>8 発達段階を踏まえた指導計画の作成</li> <li>9 園外保育からの学び～校外学習</li> <li>10 短大レポート作成</li> <li>11 思考力と科学性の芽生え</li> <li>12 子どもを守り育てる環境</li> <li>13 気になる子どもと環境</li> <li>14 短大試験対策</li> <li>15 まとめ、期末試験</li> </ol>			
必須テキスト	短大指定テキスト			
参考文献	その都度紹介する。補助教材としてプリントを使用する。			
成績評価の方法と基準	出席状況および受講態度(20%)+短大レポート(40%)+期末試験(40%)=合計100% 短大レポート提出は単位取得必須事項とする。			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当する。大学院博士後期課程において、保育史、保育思想、保育カリキュラムについて研究している。保育雑誌『pot』(チャイルド社)に記事を連載中。			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育内容演習・言葉	必修 1単位 講義	講 師	今泉 良一
授業概要	子どもは、周囲の大人や友だちとのかかわりを通して、様々な方法で自分の内面を表現しようとする。それを踏まえ、保育者として求められる保育技術、保育方法などについて「言葉」の視点から考察し、実践を通して学んでいく。			
授業目標	1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について			
到達目標	・領域「言葉」のねらいと内容について理解し、保育者の役割について考察することができる。 ・乳幼児期のことばの発達を理解し、製作・実践を通して、言語表現技術を身につけることができる。			
授業方法	①短大レポート課題に基づいて基礎的知識を講義する。 ②実践的な内容を演習形式で体験的に学習する。			
授業計画	1 オリエンテーション(講義の概要とねらい) 2 ことば遊びの意義と実例 3 絵本の分類と読み聞かせの方法 4 紙芝居の特性と実演方法 5 児童文化財の意義と実演方法 6 短大レポート作成 7 領域「言葉」の基礎知識 8 乳幼児期のことばの発達 9 保育者の役割と関わり方 10 短大試験対策 11 保護者対応における言葉かけ 12 「書く」「話す」「伝える」技術向上のために 13 保育者の感性と表現力 14 保育における行事の意義と言葉かけ 15 まとめ・期末試験			
必須テキスト	短大指定テキスト			
参考文献	その都度紹介する。補助教材としてプリントを使用する。			
成績評価の方法と基準	出席状況および受講態度(20%)+提出物(40%)+試験(40%)=100% 短大レポート提出は単位取得必須事項とする。			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当する。大学院博士後期課程において、保育史、保育思想、保育カリキュラムについて研究している。保育雑誌『pot』に記事を連載中。			



## 2022年度 講義要綱

科 目	保育内容演習・表現	必修 1単位 講義	講 師	竹田 えり
授業概要	<p>手遊び・歌遊び・リズム遊びなどを通して子どもの表現の育ちと保育者の役割について学びます。ひとつの遊びから様々な応用を考え、表現の幅を広げていきます。絵本の読み聞かせの際の演技のバリエーションなどや、劇遊び、エプロンシアター、パネルシアターなども学びます。</p> <p>▼ふれあい遊びは多いので感染症対策のため手袋を必ず着用すること</p>			
授業目標	<p>1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。</p> <p>2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について</p>			
到達目標	<p>教育実習現場で即実践できる歌遊びのレパートリーを10個以上習得する事。          創作力やアレンジ力をつけること。          何より元気な明るい声で子どもと向き合えるようになること。</p>			
授業方法	<p>実践の繰り返しを重視。教科書や参考文献などの歌遊び・劇遊び・パネルシアター等を学びオンライン、オフライン授業共にバリエーションを考え発表していきます</p>			
授業計画	<p>1 オリエンテーション</p> <p>2 2回目より、3～13回の項目について、オンライン・オフライン・使用教室の状況により、【順不同】で複合的に盛り込み進めていく。</p> <p>3 色々な手遊び・歌遊び 春</p> <p>4 色々な手遊び・歌遊び 夏</p> <p>5 色々な手遊び・歌遊び 秋</p> <p>6 色々な手遊び・歌遊び 冬</p> <p>7 わらべうた</p> <p>8 タオルあそび</p> <p>9 読み聞かせ 表現方法 朗読のバリエーション</p> <p>10 エプロンシアター・てぶくろシアター</p> <p>11 パネルシアター 制作方法やバリエーション</p> <p>12 劇遊び・オペレッタ 表現指導方法</p> <p>13 劇遊び・オペレッタ(衣装作り・実演)</p> <p>14 実技試験</p> <p>15 総括 振り返り 卒業ソングなど</p>			
必須テキスト	<p>あつまれハート」メイト社</p>			
参考文献	<p>CD「ハートキラキラ」「ハートハッピー」「ふれあいタオルあそび」全て図書室にあります。</p>			
成績評価の方法と基準	<p>出席状況と授業への取り組み(50%) + 授業時間内での課題提出(20%) + 実技試験(30%) = 合計(100%)          意欲的、積極的な取り組みを評価し、期待します。</p>			
担当教員の専門分野等	<p>「実務経験のある教員による授業」に該当 長年に渡り保育士向けのセミナーや研修会で講習指導。          手遊び・歌遊び・劇遊び分野を研究。オペレッタ「いつまでもとどち」「北風と太陽」他多数出版(メイト社)</p>			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・身体表現遊び I	必修 1単位 講義	講 師	真砂 雄一
授業概要	子ども達に運動遊びの楽しさを教えるためにも、まずは学生自身が運動遊びを体験する。そして、現代の子どもたちの健康と運動に関する教材を活用することで知識を身に付ける。環境構成について考え、展開するための技術を学ぶ。本科目はレポート提出が単位取得の必須条件である。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの運動、表現遊びについての基礎知識を説明できる。</li> <li>・子どもの心身の発達を理解している。</li> </ul>			
授業方法	授業は、オンラインで行う講義・演習と対面での講義・演習・実技のアクティブラーニング・スタイルで行う。短大のレポート課題に関する基礎知識を講義し、レポート作成を優先し授業を展開する。なお、対面授業時には、実際に子ども達の運動遊びを体験してもらう回があるが、その際は動きやすい服装で参加すること。 ※運動遊びをする回については、事前に予告をする。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス・身体表現遊びとは</li> <li>2 リズム遊び・身体表現(実技)</li> <li>3 こどもの発育発達(オンライン)</li> <li>4 こどもと運動(オンライン)</li> <li>5 幼児期に必要な運動とは(実技)</li> <li>6 表現と運動遊び</li> <li>7 レポート作成</li> <li>8 運動遊び実践①(オンライン)</li> <li>9 発達に沿った運動遊び(実技)</li> <li>10 保育者の役割と運動時における環境構成(オンライン)</li> <li>11 試験対策、まとめ</li> <li>12 運動遊び実践の計画立案</li> <li>13 運動遊び実践①</li> <li>14 園外保育と野外活動(オンライン)</li> <li>15 運動遊び実践②</li> </ol>			
必須テキスト	併修テキスト『表現とこどもの運動』			
参考文献	授業内で適宜紹介する			
成績評価の方法と基準	授業に対する関心・意欲・態度(40%)＋提出物(30%)＋試験(30%)＝合計(100%) ※各回が関連しあっているため、欠席しないよう取り組んでほしい。 ※短大レポート提出は単位取得必須事項とする。			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当。現在短大にて、幼児体育や健康を担当する准教授として勤務。小学校で体育テクニカルアドバイザーの経験あり。保育園にて運動指導アドバイザー。専門分野：幼児体育、身体表現、レクリエーション			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・言葉遊び I	必修 1単位 講義	講 師	橋本 千鶴
授業概要	子どもの健全な心身の発達に深いかわりをもつ豊かな児童文化財のなかから、絵本・紙芝居・素話・人形劇・言葉遊び・わらべ歌・あそび歌などの言語表現活動に焦点を当て、楽しみながら、保育活動への具体的展開方法や環境構成のあり方などを実践的に学ぶ。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	1. 言語表現を豊かに育む児童文化財について積極的に学び、将来の保育者として必要な知識や技能を身につけることができる。 2. 子どもの発達段階に適した絵本・紙芝居・素話・人形劇・言葉遊び・わらべ歌・あそび歌などを選定し、保育現場での展開を考えることができる。			
授業方法	子どもの健全な心身の発達を目指す言語表現活動について、グループワーク・ディスカッション等の体験や実技、模擬授業を中心に実践的に学ぶ。			
授業計画	1 オリエンテーション・言語表現を豊かに育む児童文化財①素話の紹介 2 言語表現を豊かに育む児童文化財②絵本の読み聞かせの練習 3 乳幼児の言葉の発達と言語表現 4 言語表現を豊かに育む児童文化財③人形劇の演じ方 5 こどもの言語表現指導法と指導案の作成／幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「表現」「言葉」の内容 6 児童文化財によるこどもの言語表現活動／言語表現を豊かに育む児童文化財④素話(模擬保育と振り返り) 7 言語表現を豊かに育む児童文化財の指導⑤絵本 8 言語表現を豊かに育む児童文化財の作成とその指導(1)絵本制作 9 言語表現を豊かに育む児童文化財の作成とその指導(2)絵本の読み聞かせ(模擬保育と振り返り) 10 言語表現を豊かに育む児童文化財の作成とその指導(3)わらべ歌・あそび歌・言葉遊び 11 言語表現を豊かに育む児童文化財の作成とその指導(4)わらべ歌・あそび歌・言葉遊び(模擬保育と振り返り) 12 年間指導計画への位置づけと指導案の作成・保幼小連携 13 言語表現を豊かに育む児童文化財⑥紙芝居の演じ方 14 言語表現を豊かに育む児童文化財⑦紙芝居の演じ方(模擬保育と振り返り) 15 オノマトペを使った言語表現・まとめ			
必須テキスト	特になし。			
参考文献	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館)、他授業で適宜紹介			
成績評価の方法と基準	授業への取り組み(20%)、各授業回のアクションペーパー(50%)、作品(10%)、レポート(20%)			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当。長年にわたって小学校教員として勤務。日本カウンセリング学会認定カウンセラー。大学・短期大学等で、言葉・言語文化表現・教育相談(カウンセリング)等の授業を担当。「教師・保育者のための教育相談」(共著・萌文書林)を出版。			

## 2022年度 講義要綱

科 目	障害児保育	必修 2単位 講義	講 師	井上 恵理
授業概要	早期発見・早期対応が求められる障害児支援において、乳幼児期に関わる保育者の役割は重大である。本科目では、保育現場における障害や障害支援の考え方、具体的な対応方法、保護者支援の在り方、他機関との連携などを学習する。本科目はレポート提出が単位取得の必須条件である。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害児保育を支える理念や歴史的背景について学び、障害児及びその保育について理解する。</li> <li>2. 個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。</li> <li>3. 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。</li> <li>4. 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。</li> </ol>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害とは何か説明できる。</li> <li>・障害のある子どもや、その保護者の気持ちに想いを馳せながら、保育者による支援の在り方を考察できる。</li> </ul>			
授業方法	講義を中心として障害児保育の基礎を伝える。事例検討やグループワーク、レポート作成などの演習的要素も通じて、障害児保育についてさらに理解を深める。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 発達障害とは(広義と狭義)</li> <li>2 知的障害と支援</li> <li>3 自閉症スペクトラムと支援</li> <li>4 注意欠陥多動性障害と支援</li> <li>5 限局性学習症と支援</li> <li>6 その他の発達障害と支援</li> <li>7 中間まとめ</li> <li>8 インクルージョン保育と合理的配慮</li> <li>9 合理的配慮の実践</li> <li>10 個別の指導計画</li> <li>11 保護者支援</li> <li>12 縦横連携(幼小連携)</li> <li>13 大人の発達障害と支援</li> <li>14 重度心身障害と支援</li> <li>15 まとめ</li> </ol>			
必須テキスト	『特別支援教育』野口和也・渡辺隼人 他 著、学校法人弘徳学園			
参考文献	授業中に適宜紹介する。			
成績評価の方法と基準	提出物(50%)＋出席状況(25%)＋授業態度(25%)＝合計(100%) 授業に出席し、講義の要点はメモする。提出物は期限を守って提出すること。本科目はレポート提出が単位取得の必須条件であるので、気を付けること。			
担当教員の専門分野等	臨床心理学が専門。数年間、教育相談室で子どもや保護者の発達相談等に応じていた。現在も臨床心理士、公認心理師として活動中。			

## 2022年度 講義要綱

科目	社会的養護Ⅱ	必修 1単位 講義	講師	北川 裕子
授業概要	施設や保育士の役割や援助等、基礎的な内容について具体的に学ぶ。 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する。</li> <li>2. 施設養護及び家庭養護の実際について理解する。</li> <li>3. 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。</li> <li>4. 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。</li> <li>5. 社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。</li> </ol>			
到達目標	施設養護及び家庭養護の実際について理解できる。 虐待の防止、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深めることができる。			
授業方法	事例研究やロールプレイ、児童自立支援計画の立案等を通し、保育現場での実践力を身につけられるような学習を取り入れる。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 養護の基本原理等の復習、子どもの権利擁護</li> <li>2 保育士の資質と倫理・責務、チームワーク</li> <li>3 施設養護の生活特性および実際 ①入所、日常生活援助</li> <li>4 施設養護の生活特性および実際 ②集団生活、家族調整</li> <li>5 施設養護の生活特性および実際 ③自立支援</li> <li>6 施設養護の生活特性および実際 ④退所、アフターケア</li> <li>7 施設養護の生活特性および実際 ⑤記録の意味、個別支援計画の作成、自己評価</li> <li>8 保育士の専門性・ソーシャルワークにかかわる知識・技術とその応用 ①心理的支援</li> <li>9 保育士の専門性・ソーシャルワークにかかわる知識・技術とその応用 ②被虐待児への支援、親への支援</li> <li>10 保育士の専門性・ソーシャルワークにかかわる知識・技術とその応用 ③障がい児への支援、親への支援</li> <li>11 里親等の家庭養護の特性及び実際</li> <li>12 日常生活に関する事例分析</li> <li>13 治療的支援に関する事例分析</li> <li>14 今後の施設の方向性(小規模化等)</li> <li>15 今後の社会的養護の方向性(家庭的養護の推進、地域との関わり、展望等)</li> </ol>			
必須テキスト	なし			
参考文献	「児童の福祉を支える 演習 社会的養護Ⅱ」 吉田真理著 萌文書林 「図解で学ぶ保育「社会的養護Ⅱ」 原田旬哉他 萌文書林			
成績評価の方法と基準	授業への取り組み(15%)+提出物(75%)=合計100% 積極的な取り組みに期待します。			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当。児童養護施設勤務経験あり。 児童家庭福祉・社会的養護分野を研究。			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育実習 I - 1 (保育)	必修 2単位 外部実習	講 師	実習指導授業担当
授業概要	保育所において、90時間以上の実習を行い、現場職員の指導を受ける。			
授業目標	1. 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 2. 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。 3. 既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。 4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。 5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。			
到達目標				
授業方法	保育所の役割や機能、保育士の業務内容や職業倫理について、説明できる。 保育の計画に基づいた観察、子どもとの関わりができ、子どもへの理解を深め、記録することができる。			
授業計画	1 ①現場職員による保育実践を観察し、保育に参加することを通して、保育全般について知る。 ②子どもの観察、子どもとの関わりを通して、子どもに対する理解を深める。 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15			
必須テキスト				
参考文献				
成績評価の方法と基準	実習態度、対象者の理解、職員としての資質の観点に基づく、現場職員及び実習指導授業担当教員による総合評価			
担当教員の専門分野等				

## 2022年度 講義要綱

科目	保育実習Ⅰ－Ⅱ（施設）	必修 2単位 外部実習	講師	実習指導授業担当
授業概要	各現場の指導プログラム、計画に従う			
授業目標	1. 児童福祉施設、障害者支援施設の役割や機能を具体的に理解する。 2. 観察や、子ども・利用者との関わりを通して対象者への理解を深める。 3. 既習の教科目の内容を踏まえ、各現場の支援について総合的に理解する。 4. 現場における支援の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。 5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する			
到達目標	1. 多様な福祉施設の役割と機能、支援者の業務内容、職業倫理について説明できる 2. 支援計画に基づいた観察、理解、関わりを深め、自ら考察して記録にできる			
授業方法	各施設職員の指導の下、現場で実務経験をする			
授業計画	1 ①現場職員による支援実践を観察し、活動に参加することを通して、支援全般について知る ②子ども・利用者の観察、関わりを通して、対象者への理解を深める 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15			
必須テキスト				
参考文献				
成績評価の方法と基準	「実習態度」「対象者の理解」「職員としての資質」の観点に基づく、現場職員及び実習指導担当教員による総合評価			
担当教員の専門分野等				

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育実習指導 I a	必修 1単位 講義	講 師	今泉 良一
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な学習経験である保育所実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。</li> <li>・実習日誌の記載方法を体得する。</li> </ul>			
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「認定絵本士養成講座科目」を学び、絵本への理解を深める。(該当科目1コマ)</li> <li>1. 保育実習の意義・目的を理解する。</li> <li>2. 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。</li> <li>3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。</li> <li>4. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について目</li> </ul>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に臨む目的意識、実習生としての常識を身につけることができる。</li> <li>・実習日誌の記入方法、指導案の作成方法を習得できる。</li> <li>・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本に関する総合的なプロデュース力を身につけることができる。</li> </ul>			
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を通して実習を想定し、実習生として必要な常識、スキル、柔軟性を学び、身につける。</li> <li>・無断欠席はもちろん不可であり、報告・連絡・相談の大切さを知る。</li> </ul>			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育実習の概要</li> <li>2 保育所の1日の流れと保育内容の理解 実習目標を立てる</li> <li>3 発達の様子と実習生の関わり方</li> <li>4 日誌に生かす保育の観察方法</li> <li>5 保育現場職員による講義</li> <li>6 実習日誌を書く意義と記入方法</li> <li>7 実習に伴う書類の作成 事務手続きの確</li> <li>8 手あそび、読み聞かせの指導案作成</li> <li>9 【認定絵本士養成講座科目】「絵本と出会う①」担当:今泉良一</li> <li>10 保育教材作成</li> <li>11 【実技試験】手あそび、読み聞かせ、スケッチブックシアターの発表</li> <li>12 オリエンテーションに向けて</li> <li>13 【筆記試験】実習日誌</li> <li>14 実習前後のまとめ</li> <li>15 G2・G3合同 実習わくわくタイム</li> </ol>			
必須テキスト	<p>『千春と大吾の保育実習ストーリー』萌文書林</p> <p>【認定絵本士科目】認定絵本士養成講座テキスト</p>			
参考文献	その都度紹介する。補助教材としてプリントを使用する。			
成績評価の方法と基準	出席状況および受講態度(20%) + 発表(40%) + テスト(20%) + 提出物(20%) = 合計(100%) 無断欠席不可。提出物は期限を守ること。			
担当教員の専門分野等	<p>「実務経験のある教員による授業」に該当する。大学院博士後期課程において、保育史、保育思想、保育カリキュラムについて研究している。保育雑誌『pot』(チャイルド社)に記事を連載中。</p> <p>【認定絵本士養成講座担当講師】 ○今泉良一: 赤ちゃん絵本、ブックスタートなど地域での育児支援活動や家庭での絵本の読み聞かせの現状に精通した者</p>			



## 2022年度 講義要綱

科 目	保育実習指導 I b	必修 1単位 講義	講 師	井上 恵理
授業概要	貴重な学習経験である施設実習を有意義なものにするために、必要な事項を学び、施設実習に向けた準備をする。 あわせて実習日誌の記載方法を体得する。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の意義・目的を理解する。</li> <li>2. 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。</li> <li>3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。</li> <li>4. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。</li> <li>5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。</li> </ol>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(児童)福祉施設の入所児、利用者、職員に対する理解を深め、現場での実習生としての自分の姿をイメージできる。</li> <li>・実習に臨む目的意識、問題意識を持てる。</li> </ul>			
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義により、(児童)福祉施設についての知的理解を深める。</li> <li>・実際の現場に立ち、施設の実践に触れる中で、体験的に学ぶ。</li> </ul>			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設実習の意義と目的</li> <li>2 施設実習先の種別や実習の実際、必要な準備について</li> <li>3 乳児院について</li> <li>4 児童養護施設について</li> <li>5 母子生活支援施設について</li> <li>6 児童発達支援センター(療育)について</li> <li>7 福祉型障害児(者)施設について</li> <li>8 医療型障害児(者)施設について</li> <li>9 実習日誌の理解と演習</li> <li>10 実習日誌の理解と演習</li> <li>11 実習目標を立てる</li> <li>12 実習目標を立てる</li> <li>13 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認</li> <li>14 まとめと振り返り</li> <li>15 まとめと振り返り</li> </ol>			
必須テキスト	『ひと目でわかる 保育者のための児童家庭福祉データブック2021』西郷泰之・宮島清編著、中央法規			
参考文献	適宜、授業内で紹介			
成績評価の方法と基準	出席点(30%)＋平常点(30%)＋レポート等提出物(40%)＝合計(100%) 実習と同じルールを適用するため、基本的に遅刻・欠席は認めない。			
担当教員の専門分野等	臨床心理学が専門。数年間、教育相談室で子どもや保護者の発達相談等に応じていた。現在も臨床心理士、公認心理師として活動中。			

## 2022年度 講義要綱

科 目	合唱と合奏 I	選択必修 2単位 講義	講 師	石原 奈保子、楠野 麻衣、 白鳥 久代、大須賀 かおり、 高山 美帆、国友 真知子
授業概要	1年次に学んだ子どもの歌を中心としたレパートリーについてどのように現場で子どもたちと楽しんでいくか、自ら考えながら、より良い指導法のテクニックを培っていく。コードネームの基礎をマスターする。また、豊岡短大のスクーリング試験対策も④⑤の授業の中でそれぞれ行っていく。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人レッスンでは保育実習Ⅱに向けて生活の歌や現場ですぐ楽しめる曲を2～3曲仕上げる。</li> <li>・季節や生活・行事等、様々なねらいに応じた歌遊びの現場での楽しみ方を身に着ける。</li> </ul>			
授業方法	1年次と同じく、クラスを2つのグループに分け、45分ずつ教室を入れ替わり、④ピアノ等の個人レッスンと⑤合唱等のグループレッスンとを行う。オンラインの個人レッスンでは画面に手元を映すよう工夫すること。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前・後半に分かれて各教室でのオリエンテーション。(④⑤に分かれて45分で入れ替わる)</li> <li>2 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤合唱等のグループレッスン。以下の項目について学生の状況に合わせて複合的に盛り込み進めていく。</li> <li>3 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤1年次にマスターした子どもの歌のレパートリーの確認。</li> <li>4 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤コード伴奏等の基礎知識(五線紙は配布します。)</li> <li>5 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤現場で役立つ声の出し方(呼吸法と発声法)</li> <li>6 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤童謡・唱歌等の子どもの歌教材研究</li> <li>7 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤豊岡短大ソルフェージュの課題演習</li> <li>8 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤童謡・唱歌等の子どもの歌の演習</li> <li>9 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤2声・3声のハーモニー(共働作業を楽しむ)</li> <li>10 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤リトミックを含む歌遊びの指導法研究</li> <li>11 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤リズム楽器を楽しむ</li> <li>12 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤弾き歌いの指導研究</li> <li>13 ④ピアノ等による個人レッスン／⑤個人レッスンによるアドバイス</li> <li>14 実技試験に向けてのリハーサルと個別指導(④⑤共)</li> <li>15 実技試験(発表会)と各自の振り返り</li> </ol>			
必須テキスト	『現場で役立つ幼稚園教諭・保育士の為のピアノ入門』ドレミ出版 『ポケットいっぱいの歌』教育芸術社 子どもの指導法『音楽表現』豊岡短大 ※対面時は”有線イヤフォンorヘッドフォン”をお持ちください			
参考文献	日本児童教育専門学校編「はじめての弾き歌い」			
成績評価の方法と基準	出席状況・受講態度(50%)＋実技試験(50%)＝合計100% 実技試験課題については1か月前には担当講師と個別に検討を始め、ピアノ曲、弾き歌い各1曲(または弾き歌い2曲)を準備すること。			
担当教員の専門分野等	専任: 木下裕子 東京藝術大学卒業。公財日本オペラ振興会育成部第6期修了。声楽、ピアノ、合唱指導、リトミック指導。			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・身体表現遊びⅡ	選択必修 1単位 講義	講 師	菊池 一英
授業概要	子どもの遊びは生活そのものであることを学びます。また、様々な遊びを通して、保育実践力を身に付けます。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	1. 様々な身体表現遊びを経験し、子ども達の前で柔軟に対応できるようになる。 2. 実技とDVD視聴により、様々な遊びの指導方法を身に付けることができる。 3. 企画会議に参加し、独自の運動会を計画・立案する。			
授業方法	実技科目に参加する。運動会企画会議を立ち上げ、プレゼンテーションをする。			
授業計画	1 ふれあい遊びいろいろ(ラブラブ握手他) 2 身体表現遊びいろいろ(洋風おべんと箱他) 3 野外遊びのいろいろ<お陽さまこどもクラブ実践DVD視聴> 4 身体表現としての手遊びいろいろ 5 野外での集団遊び(探検ビンゴ！) 6 集団遊びいろいろ(ワン、ニャン、プー仲間よ集まれ他) 7 独自の身体表現プレゼンテーション 8 水遊びいろいろ 9 身体表現まねっこ歩き(BGMに合わせて表現) 10 野外でのロープ遊びいろいろ<DVD視聴> 11 運動会に向けての企画会議(1) 12 運動会に向けての企画会議(2) 13 運動会に向けての企画会議(3) 14 運動会に向けての企画会議(4) 15 運動会に向けての企画会議(プレゼンテーション)			
必須テキスト	特に指定なし			
参考文献	『仲間づくりのためのおもしろゲーム遊び』メイト 菊池一英著			
成績評価の方法と基準	実技種目への貢献度(30%)企画会議への参加度(30%)出席率(40%)			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当。保育所に副園長兼保育士として長年勤務。現在幼児体育講師として保育所にスーパーバイザーとして非常勤勤務。			

## 2021年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・音楽遊びⅡ	選択必修 1単位 講義	講 師	鈴木 真智子、渡辺 谷子、 福田 由子、山崎 洋子、楠 野 麻衣、島内 亜津子、国 友 真知子
授業概要	保育の現場において生活と遊びの中で様々な用いられる、わらべ歌、手遊び歌、リトミックソング、季節の歌や生活の歌等、知っておきたいレパートリーを多角的に実践演習していく。またコードによる簡易伴奏等、現場で役立つ音楽の基礎力を深める。			
授業目標	鍵盤楽器(ピアノ等)を中心に簡単なコード伴奏で弾き歌いを楽しむ。 様々な子どもの歌を演習し、互いの表現を聞き合い、美しさや楽しさを理解しあう。			
到達目標				
授業方法	授業内容を前・後半に分割し個人レッスンと歌遊びの教室を入れ替わって受講する。 オンラインでの個人レッスンでは鍵盤を使用するため、手元を写せる工夫をして下さい。			
授業計画	<p>1 前・後半のグループに分かれてのオリエンテーション(①②に分かれて45分で教室を入れ替わる。)</p> <p>2 ①ピアノ等による個人レッスン／②歌遊び:以下の項目を対面等の学生の状況に合わせ複合的に盛り込み進めていく。</p> <p>3 ①ピアノ等による個人レッスン／②保育士に必要な音楽基礎知識(五線紙は授業内で配布する)</p> <p>4 ①ピアノ等による個人レッスン／②現場で役立つ声の出し方(呼吸法と発声法)</p> <p>5 ①ピアノ等による個人レッスン／②わらべ歌とは</p> <p>6 産学連携</p> <p>7 ①ピアノ等による個人レッスン／②手遊び歌のグループ演習と発表</p> <p>8 ①ピアノ等による個人レッスン／②童謡・唱歌等の子どもの歌の演習</p> <p>9 ①ピアノ等による個人レッスン／③簡単な2声のハーモニー(共働作業を楽しむ)</p> <p>10 ①ピアノ等による個人レッスン／③リトミックを含む歌遊びの演習</p> <p>11 ①ピアノ等による個人レッスン／③リトミックを含む歌遊びの演習</p> <p>12 産学連携</p> <p>13 ①ピアノ等による個人レッスン／③互いに発表を聞き合い高め合う工夫をする</p> <p>14 発表会リハーサル(①②とも)</p> <p>15 (対面)発表会形式による実技試験(①②とも)</p>			
必須テキスト	『現場で役立つ幼稚園教諭・保育士の為のピアノ入門』ドレミ出版 『ポケットいっぱいの歌』教育芸術社 ※対面時は”有線イヤホンorヘッドホン”をお持ちください			
参考文献	『はじめての弾き歌い』日本児童教育専門学校編			
成績評価の方法と基準	出席状況・受講態度(50%)＋発表(50%)＝合計(100%)			
担当教員の専門分野等	東京藝術大学卒業。公財日本オペラ振興会育成部第6期修了。声楽・ピアノ・合唱指導・リトミック指導。			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・造形遊びⅡ	選択必修 1単位 講義	講 師	宮地 明子
授業概要	子どもの発達と造形活動の関わりを理解し 領域「表現」の本質を問う 思考を身につける			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で 子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する 2. 保育における教材等の活用及び作成と 保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する			
到達目標	1. 子どもの発達段階による表現の特徴や変化を理解し 説明することができる 2. 「造形表現」の意義を知り 適切な素材や援助について思考することができる			
授業方法	レポート制作の対策として設題に沿った文献や写真資料などで指導、添削 試験設問についての学習			
授業計画	1 ガイダンス…単位修得のためのスケジュール確認 2 短大レポートテーマの学習① 3 短大レポートテーマの学習② 4 短大レポートテーマの学習③ 5 レポート制作と指導① 6 レポート制作と指導② 7 レポート制作と指導③ 8 レポート制作と指導④ ワークショップ 9 試験対策① 10 試験対策② 11 試験対策③ 12 試験対策④ 13 試験対策⑤ 14 試験対策⑥ 15 振り返りとまとめ 「作って遊ぶ制作」			
必須テキスト	「造形表現論」豊岡短期大学			
参考文献	授業内で適宜紹介する			
成績評価の方法と基準	提出物(40%)+出席状況(25%)豊岡短大レポート・試験(20%)+授業態度(15%)=合計100% 意欲的な取り組みを評価する 提出物の期限は守ること			
担当教員の専門分野等	長期にわたり幼児造形指導の経験を積み 多数の保育現場での指導を現在も実践 素材をいかしたプランと制作を雑誌等に提供 工作や絵描き歌などをの著作多数			

## 2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・言葉遊びⅡ	選択必修 1単位 講義	講 師	奥谷 敏彦、本多 ちかこ、 吉田 昌子
授業概要	[奥谷]様々なアプローチによって言葉遊びに関する感覚を磨き、保育に役立つ教材を製作します。 [本多]紙芝居の特性を知り、演じ方と制作を学ぶ。 [吉田]保育現場の絵本に対するさまざまな価値観に触れながら絵本に対する考え方を広げていく。絵本制作を楽しむ。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	[奥谷]1. 言葉遊びを楽しむためのユーモアやセンスを理解できる。 2. 言葉遊びを使ったパズルや迷路など、教材を製作することができる。 [本多]紙芝居の特性を知り、演じることができる。 [吉田]保育現場における絵本の役割について自分の考えを持ち、説明することができる。保育場面を想定しながら絵本作りを楽しむことができる。			
授業方法	[奥谷]いろいろな言葉遊びに触れ、自ら楽しむことを出発点にして、子供たちと一緒に遊べる作品を実作します。 [本多]実演と制作 [吉田]パワーポイント等を用いた講義と、絵本制作。			
授業計画	1 [奥谷]1 はじめに～アクロスアティック自己紹介…いろいろな言葉遊びを概観し、アクロスアティックで自己紹介文を制作します。 2 [奥谷]2 しりとりにめいろ…しりとりで進む迷路を制作します。 3 [奥谷]3 スケルトン…子供にもわかりやすいクロスワードパズルの簡易版、スケルトンを制作します。 4 [奥谷]4 なぞなぞ/ことばあそびの詩…自作のなぞなぞを制作します。 5 [奥谷]5 ことばあそびの詩を紹介します。 6 [本多]1 さまざまな紙芝居を観る 7 [本多]2 紙芝居の歴史と特性 8 [本多]3 舞台を使って演じる 9 [本多]4 紙芝居の制作 10 [本多]5 紙芝居の制作 11 [吉田昌子]1 保育現場での絵本(講義) 絵本制作 12 [吉田昌子]2 保育現場での絵本(講義) 絵本制作 13 [吉田昌子]3 絵本制作 14 [吉田昌子]4 絵本制作 15 [吉田昌子]5 絵本制作まとめ 小レポート			
必須テキスト				
参考文献				
成績評価の方法と基準	受講態度、出席状況、提出物による総合評価			
担当教員の専門分野等	奥谷:イラストレーター、パズル作家 本多:紙芝居の創作と実演 吉田:「実務経験のある教員による授業」保育園勤務経験			

## 2022年度 講義要綱

科目	教育史	選択 2単位 講義	講師	柏木 睦月
授業概要	教育の歴史や当時の教育思想について社会背景とあわせて学んでいきます。また、現代の教育についても取り上げることで授業で得た学びを深めていきます。			
授業目標	教育の歴史について当時の社会背景とあわせて理解し、今日における教育がどのように作り上げられてきているのかについて学ぶ。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で得た知識や考え方をもとに、自分自身の教育観について考えを深めることができる。</li> <li>・授業の中で考えたことを自分の言葉で表現することができるようになる。</li> </ul>			
授業方法	基礎的な事柄については講義形式で授業を行います。適宜視聴覚教材を用いることもあります。また、グループワークやディスカッションも行う予定です。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インTRODクシヨN:教育史を学ぶのはなぜだろう？</li> <li>2 古代ギリシアにおける「学問」のはじまり</li> <li>3 近代ヨーロッパにおける「子ども」の発見</li> <li>4 近代ヨーロッパにおける「教育」とその思想</li> <li>5 近代学校の成立と「学校に通う」ことの意味</li> <li>6 日本における学校の成立とその展開</li> <li>7 戦時下における日本の教育</li> <li>8 戦後の日本における学校と地域・社会とのかかわり</li> <li>9 海外での教育の歴史</li> <li>10 教育の現代的課題①インクルーシブ教育とは何か</li> <li>11 教育の現代的課題②多文化共生と教育</li> <li>12 教育の現代的課題③多様性をめぐる教育</li> <li>13 教育の現代的課題④「道徳」は教えることができるか</li> <li>14 教育の現代的課題⑤「学校」はどういう場所なのか</li> <li>15 まとめ:教育史から学んだことは何か</li> </ol>			
必須テキスト	特に指定しません。			
参考文献	特に指定しません。授業中に適宜紹介します。			
成績評価の方法と基準	授業への取り組み・出席状況(30%) + 各回のワークシート・リアクションペーパー(70%) = 合計(100%)。授業やグループワーク、ディスカッションへの積極的・意欲的な取り組みを期待しています。			
担当教員の専門分野等	専門分野: 日本教育史、養護教諭史。東京大学大学院教育学研究科博士課程、修士(教育学)。「実務経験のある教員による授業」に該当。中高で養護教諭としての勤務経験あり。			

## 2023年度 講義要綱

科 目	教育実習	選択 4単位 外部実習	講 師	実習指導授業担当
授業概要	幼稚園において4週間の実習を行い、現場教職員の指導を受ける			
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の役割や機能を具体的に理解する。</li> <li>・観察や幼児とのかかわりを通して幼児への理解を深める。</li> <li>・既習の教科目の内容を踏まえ、幼児の保育及び保護者への支援について総合的に理解する。</li> <li>・保育の計画、観察、記録及び自己評価などについて具体的に理解する。</li> <li>・幼稚園教諭の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。</li> </ul>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の役割や機能、幼稚園教諭の業務内容や職業倫理について説明できる。</li> <li>・計画に基づいた内容、幼児とのかかわりができ、幼児への理解を深め、記録することができる。</li> </ul>			
授業方法	幼稚園教職員の指導の下、現場で実務経験をする。			
授業計画	1 ①現場教職員による保育実践を観察し保育に参加することを通して保育全般について知る ②幼児の観察、幼児とのかかわりを通して、幼児に対する理解を深める 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15			
必須テキスト				
参考文献				
成績評価の方法と基準	自己管理能力、実習態度、研究意欲、記録能力、保育技術能力の観点に基づく現場教職員及び実習担当講師による総合評価			
担当教員の専門分野等				



## 2022年度 講義要綱

科 目	教育実習指導 I	選択 2単位 講義	講 師	鈴木 八重子
授業概要	幼稚園教諭免許状取得希望者は教育実習を行うことが必須である。本授業では学校で学習した知識や技能を生かしながら保育技術の取得、教師としてふさわしい態度を身につける。また、保育教材を製作し実習に向けて準備する。			
授業目標	幼稚園教育における教育内容、教師の職務、幼児の活動の内容とそれらの意味について理解する。観察における留意点を理解し、事実在即して記述する力を身につける			
到達目標	幼稚園教育実習に必要な知識、技能技術、幼児の発達や指導方法、日誌の記入の仕方、社会人としてのマナーを身につけ実践することができる。			
授業方法	幼稚園の基礎的な理解や実習で必要とされる観察方法や記録の仕方、幼児理解をテキストや視聴覚教材を用いて行う。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス 今までの実習を振り返り、自己線題を明確にする</li> <li>2 幼稚園教育要領の概要・実習関連書類記入</li> <li>3 幼稚園教育の特色</li> <li>4 幼稚園教育のねらいと内容の理解</li> <li>5 幼稚園の一日の流れ・実習直前準備</li> <li>6 3歳児の発達特徴とかかわり方</li> <li>7 3歳児の記録の読み取りと記入</li> <li>8 4歳児の発達特徴とかかわり方</li> <li>9 4歳児の記録の読み取りと記入</li> <li>10 5歳児の発達特徴とかかわり方</li> <li>11 5歳児の記録の読み取りと記入</li> <li>12 教師のねらいと援助のあり方</li> <li>13 教育実習前半 振り返り(1)</li> <li>14 教育実習前半 振り返り(2)</li> <li>15 まとめ</li> </ol>			
必須テキスト	『フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画』神水道美、萌文書林 『幼稚園教育要』			
参考文献				
成績評価の方法と基準	出欠席(30%)+授業への参加姿勢(30%)+提出物の内容と提出期限の遵守(40%)=合計(100%)			
担当教員の専門分野等	幼稚園教諭としての実務経験があり、幼稚園教諭免許状をもつ教員が、その経験に基づいた指導を行う科目である			

## 2023年度 講義要綱

科 目	教育実習指導Ⅱ	選択 1単位 講義	講 師	
授業概要	講義・演習や実習園でのオリエンテーションを通して、幼稚園教育の基本や実習の意 方法を理解し、幼稚園教諭にふさわしい態度や心構え、記録の取り方や指導計画の立て方を学ぶ。			
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な教材研究を行い、部分実習指導計画案の立案の仕方を理解する。</li> <li>・安全面と環境構成に留意した全日指導計画案の立案の仕方を理解する。</li> </ul>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習での観察や記録の仕方を理解し、指導計画を立てることができる。</li> <li>・立案した指導計画を実践するための教材研究や保育技術を考えることができる。</li> </ul>			
授業方法	指導計画の立案、実践、振り返りを行う。またテキストや視聴覚教材を用いて環境構成、ねらいと教師の援助の読み 取り等を行う。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育実習Ⅱのねらいと内容の理解</li> <li>2 教育実習目標の設定、実習関係必要書類の確認</li> <li>3 幼稚園実習Ⅱにおける実習の流れと指導</li> <li>4 主活動の指導計画案立案制作活動①</li> <li>5 主活動の指導計画案立案 制作活動②</li> <li>6 主活動の指導計画案立案 ゲーム①</li> <li>7 全日指導計画案立案①</li> <li>8 全日指導計画案立案②</li> <li>9 実習直前演習 実習中のマナー、注意事項、連絡報告方法、健康管理について</li> <li>10 実習によって得られた知識と経験を振り返る①</li> <li>11 実習によって得られた知識と経験を振り返る②</li> <li>12 教育実習について振り返りを行い、園からの評価をもとに指導を受ける①</li> <li>13 教育実習について振り返りを行い、園からの評価をもとに指導を受ける②</li> <li>14 教育実習について振り返りを行い、園からの評価をもとに指導を受ける③</li> <li>15 教育実習について振り返りを行い、園からの評価をもとに指導を受ける④</li> </ol>			
必須テキスト	『3、4、5歳児の保育ガイド 実習お任せbook』 『幼稚園教育要』			
参考文献				
成績評価の 方法と基準	出欠席(30%)+授業への参加姿勢(30%)+提物の内容と提出期限の遵守(40%)=合計100%			
担当教員の 専門分野等	幼稚園教諭としての実務経験があり、幼稚園教諭免許状をもつ教員が、その経験に基づいた指導を行う科目であ る。			

## 2022年度 講義要綱

科目	合唱と合奏Ⅱ	選択 1単位 講義	講師	浦啓子、楠野麻衣、白鳥久代、杉橋祥子、高橋裕希子
授業概要	1年次に学んだ子どもの歌を中心としたレパートリーについてどのように現場で子どもたちと楽しんでいくか、より良い指導法のテクニックを培っていく。コードネームによる簡易伴奏に慣れ、現場での指導に活用できる力を養う。引き続き④⑧共、豊岡短大の試験対策の演習も行う。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人レッスンではハ長調以外のト長調、ヘ長調等のコード伴奏によるレパートリーに挑戦する。</li> <li>・季節や生活・行事等、様々なねらいに応じた歌遊びの現場での楽しみ方を身に着ける。</li> </ul>			
授業方法	前期と同様にクラスを2つのグループに分け、45分ずつ教室を入れ替わり、④ピアノ個人レッスンと⑧合唱等のグループレッスンとを行う。オンラインの個人レッスンでは画面に手元を映すよう工夫すること。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前・後半に分かれて各教室でのオリエンテーション。(④⑧に分かれて45分で入れ替わる)</li> <li>2 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧合唱等のグループレッスン。以下の項目について学生の状況に合わせて複合的に盛り込み進めていく。</li> <li>3 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧コード伴奏等の基礎知識(五線紙は授業内で配布します)</li> <li>4 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧現場で役立つ声の出し方(呼吸法と発声法)</li> <li>5 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧うた遊びのチーム指導のテクニック</li> <li>6 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧童謡・唱歌等の子どもの歌教材研究</li> <li>7 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧豊岡短大ソルフェージュの課題演習</li> <li>8 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧童謡・唱歌等の子どもの歌の演習</li> <li>9 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧2声・3声のハーモニー(共働作業を楽しむ)</li> <li>10 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧リトミックを含む歌遊びの指導法研究</li> <li>11 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧リズム楽器を楽しむ</li> <li>12 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧弾き歌いの指導研究</li> <li>13 ④ピアノ等による個人レッスン／⑧個人レッスンによるアドバイス</li> <li>14 実技試験に向けてのリハーサルと個別指導(④⑧共)</li> <li>15 実技試験(発表会)と各自の振り返り</li> </ol>			
必須テキスト	『現場で役立つ幼稚園教諭・保育士の為のピアノ入門』ドレミ出版 『ポケットいっぱいの歌』教育芸術社 子どもの指導法『音楽表現』豊岡短大 ※対面時は”有線イヤフォンorヘッドフォン”をお持ちください			
参考文献	日本児童教育専門学校編「はじめての弾き歌い」			
成績評価の方法と基準	出席状況・受講態度(50%)＋実技試験(50%)＝合計100% 実技試験課題については1か月前には担当講師と個別に検討を始め、ピアノ曲、弾き歌い各1曲(または弾き歌い2曲)を選曲すること。豊岡短大の試験課題曲と重複しても良い。			
担当教員の専門分野等	専任: 木下裕子 東京藝術大学卒業。公財日本オペラ振興会育成部第6期修了。声楽、ピアノ、合唱指導、リトミック指導。			